豊かな生活と余暇の充実

てんしゃば

グループホームは地域の人々と繋がるコミュニティ(共同体)でもあります。共同体とは助け合い(ケア)であり、それは地域の中で生まれて、生活の中で繰り広げられていきます。

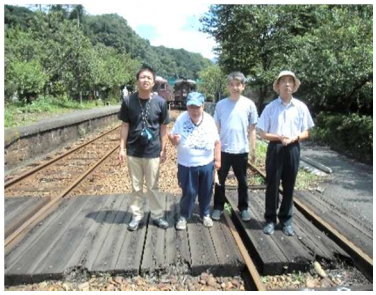
そのような中でグループホームの利用者にとって最大の楽しみは何でしょうか。毎日、日中はさまざまな事業所に通い、労働の対価として報酬工賃を得ます。

一生懸命働いて、頂いた工賃は、自身の楽しみに形を変えていきます。そのためにも、日々真剣に仕事に取り組んでいます。

休日は、買い物をしたり、みんなで出かけて、気に入ったおみやげを買って来るなんてことも目的のひとつになっています。

美容院で、髪をカットしてもらって、おしゃれしてくるとか・・・

理由は何も無いけれど、みんなでローカル線の旅をして、電車に乗ったりするだけでも、笑顔になれます。



移ろいゆく季節の中で、旬のものを食べに行く事も、楽しい余暇の過ごし方ですね。

今年度は、利用者の生活の質の向上及び、生活の幅を更に拡げていく事を目的に、移動支援などの地域サービスを利用し、個別の活動に力を入れてきました。

今日はどこに行きたい、何をしたいなど、本人の自由意思を優先していますが、時には、どんな所へ行けば良いか、どうしたら良いかなど利用者が迷ってしまう事もあるので、選択の間口を広げられるよう、職員から多少のアドバイスをして、背中を押してあげる事もあります。

利用者の自己決定や特性を考慮し、本人が心から楽しめ、充実した余暇を過ごす事が出来るよう、創意工夫に務めること、地域の中での出会いを大切にし、利用者が地域社会で歩み続けられるように、支援していくことを常に心掛けていきたいと思います。

さらには、社会全体で包み込んでいくこと＝ソーシャルインクルージョンが、何よりも大切だということを心に留めておきたいと思っています。

生活支援員
勤続４年　斎藤　靖